

平成25年 水稲管理情報

No.3 (6月発行)

1. 後期除草剤で雑草対策を!

田植え後の除草剤で雑草を抑えきれなかった場合は、下表の後期除草剤を使用して雑草対策をしましょう。

対象雑草	除草剤名	10aあたり 薬量	使用時期	使用方法 と 散布のポイント
イネ科雑草 ヒビ アザミ	クリンチャー 1キロ粒剤	1kg	移植後7日～ヒビ4葉期 (収穫30日前まで)	湛水散布(水深3～5cm) ※散布後3～4日は湛水を保つ
		1.5kg	移植後25日～ヒビ5葉期 (収穫30日前まで)	
広葉雑草 ホトメ ミズガヤツリ トゲカ等	バサグラン 粒剤	3～4kg	移植後15～40日 (収穫60日前まで)	落水散布(足跡に水がのこる程度) 又はヒタヒタ水で散布 (水深が浅いほど効果は安定) ※散布後3日は入水しない! (ヒタヒタ水での散布では5日)
	バサグラン 液剤	500～700ml (水70～100L に希釈)	移植後15～45日 (収穫50日前まで)	
イネ科 + 広葉雑草	クリンチャー バスME液剤	1000ml (水70～100L に希釈)	移植後15日～ヒビ5葉期 (収穫50日前まで)	※散布後2日以内に降雨があると効果が不十分となるので、 天気予報をみて散布する!

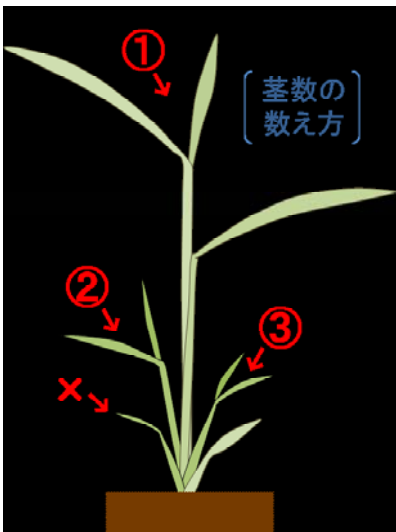
※農薬使用前には必ずラベルを読み、適正使用に努めましょう。

(いずれの除草剤も環境保護のため、降雨の有無にかかわらず散布後7日間は落水できません)

※特別栽培米を栽培している方は、農薬散布前にJAへご相談ください。

2. 水管理

- ・中干しまでは「**間断灌水**」を基本とし、根を健全に保ちましょう。
田んぼに入った際にガスが発生しているようなら、根痛みの原因となるので早めに落水してガス抜きをします。
- ・分けつが進み、茎数が下表の数となった頃から「**中干し**」を開始します。



- ◆中干しの効果◆
- ①過剰分けつの抑制と倒伏防止
 - ②酸素の供給による根の活性化
 - ③土壌を硬くし、収穫作業をしやすくする

表: 中干しを開始する目安とする茎数(ヒノヒカリ)

条間 (cm)	株間 (cm)	1坪あたり株数 (株/坪)	1株あたり茎数 (本/株)
30	18	60	19
	22	50	23
	26	42	27
	30	37	32

※ひとめぼれの場合は3本増程度とします。

葉が2枚以上出ている
茎を1本と数えます。
この場合は3本。

J A おおいた竹田事業部 農産課 63-4994
豊肥振興局農山村振興部集落・水田第二班 63-1172